

On the Correspondence of Two-syllable Chinese Character Verbs (*kango dosi*) in Korean and Japanese (2)
—Focus on the Analysis of “Korean-Japanese *kango dosi* 7000”—

YOON Jeong-in

Abstract

I compiled “Korean-Japanese two-syllable Chinese Character verbs (*kango dosi*)” and examined their correspondences in this study. The correspondence rate between the two languages was found to be 73.27%, which is lower than the 88.29% correspondence rate “Japanese-Korean *kango dosi* 7000”. It is believed that this percentage will decrease further in actual use. The significant reasons for this difference of about 15% can be summarized in two points. The first point is that among the 7000 *kango dosi* in Korean, there are nearly 1000 *kango dosi* that exist only in Korean. The second point is that there are about 900 which are *kango dosi* in Korean, while there are nouns or adjectival verbs in Japanese. To present actively corresponding *kango dosi* between both languages to Korean language learners, and to prevent the misuse of key vocabulary that does not correspond each other, such as “공부(工夫)하다”, “대답(對答)하다”, “부탁(付託)하다”, “시작(始作)하다”, “실수(失手)하다”, “이사(移徙)하다”, “이체(移替)하다”, “조심(操心)하다”, “취소(取消)하다”, and “할인(割引)하다”, “Korean-Japanese *kango dosi* 7000” is expected to play an important role.

日韓両言語における 2 字漢語動詞の 対応の諸相 (2)

—— 「韓日漢語動詞 7000」の分析を中心に ——

尹 亭 仁

筆者は長年、日本における韓国語教育に必要な語彙教育のため、数度の語彙調査を行ない、その結果の教育現場への還元に努めてきた。また『デイリーコンサイス国語辞典』第5版(2010)を対象に2字漢語動詞の全数調査を行ない、「日韓漢語動詞7000」を作成したことに倣い、『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(2009)の見出し語をベースにした「韓日漢語動詞7000」も作成した。

本稿では、尹亭仁(2024)で考察した「日韓漢語動詞7000」を参考に「韓日漢語動詞7000」の特徴と工夫を取り上げる。2字漢語動詞7,000語の対応関係を韓国語から捉えることで、日韓両言語の漢語動詞の用法と相違がより明らかになると思われる。

1 韓国語の2字漢語動詞の語数

尹亭仁・車香春(2014)では『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)の約48,000の見出し語を対象に、2字漢語動詞の語彙調査を行ない、5,334語を提示している。しかし、新聞と小説・エッセイなどでの語彙調査でこのリストから漏れている漢語動詞が一部あることが判明した。

尹亭仁・崔英姫(2018)では、韓国の『中央日報』の1年間(2016年)の「社説」を対象に漢語動詞の語彙調査を行ない、異なり語数1,560語の

2字漢語動詞の使用を報告している。さらに尹亭仁（2019）では、韓国の最も権威のある文学賞の10年間（2006-2015）の受賞作品を対象に語彙調査を実施し、異なり語数1,613語の2字漢語動詞の使用について取り上げている。この2つの語彙調査から新聞と小説において用いられる漢語動詞にかなりの偏りがあることが浮き彫りになった。

また、漢語動詞の中には尹・崔（2018）で提示した調査対象の基準から外れる用法も多々あった。漢語動詞としての用法より漢語動名詞（Verbal Noun、以下漢語 VN と略する）、すなわち主に名詞として用いられる漢語 VN、例えば「결과(結果)」「복통(腹痛)」「봉변(逢變)」のような語も少なくなかったのである。これらの漢語 VN は他の動詞と共に起る場合が多い。

筆者は上記のような現状を踏まえ、韓国語の2字漢語動詞のデータの基盤づくりを目指し、尹・車（2014）の2字漢語動詞5,334語に、尹・崔（2018）、尹（2019）、尹（2020）の語彙調査から集めた漢語動詞を加え、「韓日漢語動詞7000」を完成させた。

2 韓国語の2字漢語動詞7,000語の品詞分類と割合

2.1 品詞分類

韓国語の2字漢語動詞7,000語の品詞¹⁾とその割合は〈表1〉の通りである。日本語と違って他動詞が自動詞より多い。品詞分類は構文の特徴につながるため、同じ膠着語として助詞を用いる両言語において重要な情報である。

2.2 品詞の割合と特徴

韓国語の2字漢語動詞の品詞分類上の特徴は大きく2つ挙げられる。

表1 韓国語の2字漢語動詞 7,000語の品詞と割合

品詞	語数	割合
自動詞	2,403	34.33%
自自共用動詞	498	7.11%
自他両用動詞	438	6.26%
他動詞	3,661	52.30%
合計	7,000	100.00%

〈表1〉から分かるように、他動詞が全体の5割を超えている。もともと、自動詞である「自自共用動詞」(漢語 VN-되다/하다共用動詞)を加えても他動詞の方が多い。もう1つは自自共用動詞の存在である。498語で、全体の7.11%を占めている。この数は自他両用動詞よりも多い。

この「漢語 VN-되다/하다共用動詞」に対応する日本語は「VN-スル」である。「되다/하다共用動詞」は語数も多い²⁾が、頻度の高いVNも多く含まれているため、学習の妨げとして立ちはだかる大きな問題である。例えば、「관계(關係)되다/하다: 關係する」「긴장(緊張)되다/하다: 緊張する」「흥분(興奮)되다/하다: 興奮する」などは同じ自動詞構文でありながら「-되다」または「-하다」を取る用法がともに見られる。鷲尾(1998)では「대응(對應)되다/하다: 対応する」が取り上げられているが、使い分けや住み分けの根拠までは提示されていない。

新聞に用いられた(1abcd)の「당선(當選)되다/하다: 當選する」の実例を見てみよう。

- (1) a. 김 전 사장은 입사 뒤 한겨레에서 사건총괄팀장·출판국장·전략기획실장·미디어사업단장 등을 거쳤고, 2020년 3월 제 18대 대표이사 에 당선(當選)되 2023년 2월 임기를 마쳤다. (『한겨레新聞』 20250901)

- b. 사원 투표로 당선(當選)해 3년을 보냈던 대표이사실 책상 앞에선 가족은 잠시 창밖을 바라봤다. (『한겨레』 20250901)
- c. 1987년 10월 창간을 앞둔 한겨레와 인연을 맺은 고인은 한겨레 사건 총괄팀장·출판국장·전략기획실장·미디어사업단장 등을 맡았고, 2020년 3월 제 18대 대표이사에 당선(當選)돼 2023년 2월 임기를 마쳤다. (『한겨레』 20250904)
- d. 차기 뉴욕시장 유력 주자인 민주당 후보 조란 맘다니가 “당선(當選)되면 네타냐후와 푸틴을 잡아들이겠다”고 밝혔다. (『한겨레』 20250913)

(1a) と (1b) は同じ日付の新聞記事であるが、両方の用法が用いられている。(1c) と (1d) では「당선(當選)되다」が用いられており、筆者が集めている用例でも「당선(當選)되다」の方が多し。

同じ漢語 VN を語幹にして 2 つの自動詞の派生形が存在する主な理由は、接尾辞「-하다」は接辞「-스ル」に比べ「非能格」の性格が強いためだと考えられる。そのため、意志性や運動性の意味を持たない漢語 VN には「-하다」の接続は難しい³⁾。その場合は「非対格」の性格を有する接尾辞「-되다」が用いられる。この類の用法は韓国語学習者のみならず韓国語母語話者にも難しい問題である。

この問題は、韓国語よりも日本語から捉えた際に目立つ非対応であるため、日韓対照言語研究の早い段階から注目され⁴⁾、多くの論文で議論が交わされた。しかし、これには両言語の統語論と意味論の問題が関わっているため、全面的な議論にまでは至っていないのが現状である。

この類の本格的な分析のため、筆者は用例を集めており、『鉛筆で書く』(2019) の語彙調査では「도착(到着)하다 (5回) / 되다 (1回)」と「소멸(消滅)하다 (1回) / 되다 (1回)」が見られた。実例を見てみよう。

- (2) a. 세계의 모든 공항에…비행기가 도착(到着)하면 기체에 쌓인 똥을 빼
 … (p. 62)
 전군량마저 도착(到着)되지 않아 더욱 답답하다 (p. 111)
- b. …동해의 색들은 대낮의 밝음 속으로 소멸(消滅)했다가, 저녁 일몰
 … (p. 355)
 …이념이 조장하는 폭력의 비명소리에 묻혀서 소멸(消滅)되거나 증폭
 되거나… (p. 160) (いづれも『鉛筆で書く』より)

「긴장(緊張)되다/하다」の場合、集めた用例からは「긴장(緊張)하다」の方が多いが、『鉛筆で書く』(2019)では「긴장(緊張)되다」の4例だけが見られた。また「성립(成立)되다/하다」の場合、集めた用例からは「성립(成立)하다」の用例が少し多いが、『鉛筆で書く』では「성립(成立)되다」のみ5例見られた。「VN-되다/하다」の選択に個人の文体の違いも関わっているかもしれない。この点も視野に入れ、今後集めた400語以上の「漢語 VN-되다/하다共用動詞」の用例を中心に分析に取りかけたい。

3 重要語の提示と分類基準

3.1 選定基準の対象

「韓日漢語動詞7000」では韓国語の語彙教育における1つの目安の提案として、7,000語の使用頻度について語彙調査の結果を反映し、下記のように3段階の分類を行なった。^{*}の数で重要度が示されている。

選定の基準は、『中央日報』の1年間(2016年)の「社説」、『李箱文学賞作品集』(2006-2015)、『鉛筆で書く』(2019)での使用語彙を第一次基準にし、『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(2009)、『韓国語動詞辞典』(2021)、その他の小説・エッセイなどから集めた漢語動詞を参考に、

**と*を決めた。当然ながら、判定に個人差はあるだろうが、本稿では1つの目安として提示したい。

3.2 基本語彙

本稿での分析と重要語の分類には「基本語彙」「使用語彙」「理解語彙」が用いられている。「基本語彙」については、定義が異なる場合があるが、本稿では、「当該の言語の学習において必須の語彙」のことを指す。

3.3 使用語彙と理解語彙

「使用語彙」は、普段自分が話したり書いたりして使用する語彙のことを指す。「理解語彙」は、普段自分は使用しないが聞いたり読んだりして意味が理解できる語彙のことを指す。使用語彙は理解語彙の半分程度と言われているが、個人差が大きいと思われる。筆者の体感としては、理解語彙は使用語彙の3倍以上である。

3.4 重要語としての判定基準

**：韓国語の学習において「基本語彙」としての漢語動詞：1,000 語

*：「使用語彙」としての韓国語の漢語動詞：3,000 語

無表示：「理解語彙」としての韓国語の漢語動詞：3,000 語

理解語彙の3,000語の場合、個人間の判断に開きがあると思われる。

4 韓国語の発音および対応する日本語のアクセント核の提示

4.1 韓国語の発音の提示

韓国語教育に携わっている人や韓国語学習者のため韓国語の発音を加え

た。接尾辞の「-하다」を加えると、「흡착(吸着)하다 [흡차카다]」「확답(確答)하다 [확따파다]」のように、発音が変わる場合もあるが、本書では漢語 VN の発音の提示にとどめた。

4.2 日本語のアクセント核の提示

韓国語母語話者日本語学習者にとって日本語の「アクセント核」は非常に重要な情報の1つであるため、韓国語の7,000語に対応する日本語のアクセント核を加えた。筆者を含む多くの韓国語母語話者日本語学習者はアクセント核を日本語学習の大きな難点の1つとして捉えている⁵⁾。

9割近くの漢語動詞が平板型の [0] であるが、中には [1] や [2]、まれに [3] もあるため、学習者には注意を促す機能をも果たす。

5 日本語と非対応になる漢語動詞の諸相の提示

5.1 対応する漢語動詞がない類

韓国語の7,000語の2字漢語動詞の中には対応する日本語の漢語動詞がないものが976語ある。この数値は日本語から捉えた時の517語より多い。この976語には、日本語では和語動詞なのに韓国語では漢語動詞になっている「取扱う」「割引する」などが100語以上含まれている。また、気づきにくい「試合する」「合席する」「服喪する」などの混種語動詞も含まれている。これらは、「日韓漢語動詞7000」では見出し語として対象外であるため載っていないが、「韓日漢語動詞7000」には載っている。筆者は長い間、「試合する」と「服喪する」が漢語動詞でないことに気づけなかった。これらが漢語動詞であるためには、「試合：しごう」「服喪：ふくそう」と読まれなければならない。

5.2 漢語名詞（または形容動詞）で対応する類

韓国語の7,000語の2字漢語動詞の中には対応する日本語が漢語名詞（または形容動詞）であるものが895語もある。品詞欄に「名」で表わしてあるが、日本語では漢語名詞（または形容動詞）であるため「日韓漢語動詞7000」には載っていない。この2つの存在が韓日間の漢語動詞の対応の比率を大きく下げている。

5.3 「VN-되다／하다共用動詞」の提示

「日韓2字漢語動詞7000語」には407語提示されているが、「韓日漢語動詞7000」には496語載っている。「韓日漢語動詞7000」では自動詞の「自」、他動詞の「他」、自他両用動詞の「自他」に加え、「共」で示した。全体の7%以上を占めている。

5.4 対応する漢字表記の相違について

日韓両言語の漢語動詞の対応において、当該の漢字が異なる場合もあるが、本稿ではそれについて特に表示をしていない。この相違は主に日本語が新字体を用いることに起因する。いくつかの例を見てみよう。

- | | |
|-----------------|-------------|
| (3) 가담(加擔) : 加担 | 가상(假想) : 假想 |
| 계속(繼續) : 繼續 | 단결(團結) : 團結 |
| 단수(斷水) : 斷水 | 자각(自覺) : 自覺 |
| 체류(滯留) : 滯留 | 체험(體驗) : 體驗 |
| 총리(總理) : 總理 | 희석(稀釋) : 希釈 |

6 韓日両言語の2字漢語動詞の対応にみる正の転移

第二外国語教育において、母語が目標言語の習得を促すことを「正の転移 positive transfer」と言う。以下では、日韓両言語の漢語動詞における正の転移の様相を見てみよう。

6.1 「韓日漢語動詞 7000」の対応の内訳

韓国語と日本語の2字漢語動詞 7,000 語の対応の内訳を〈表 2〉に提示する。

表 2 「韓日 2 字漢語動詞 7000 語」の対応の内訳

	タイプ	対応の様子	語数	割合
正	タイプ I	「VN-하다」に「VN-スル」が対応する場合	5,129	73.27%
負	タイプ II	「VN-하다」に対応する「VN-スル」がない場合	976	13.94%
	タイプ III	「VN-하다」に「VN」(名詞)のみが対応する場合	895	12.79%
			7,000	100%

6.2 正の転移が見られる漢語 VN の語数と特徴

〈表 2〉に提示した韓国語と日本語の漢語動詞の正の転移は、5,129 語で 73.27% の割合である。日本語から捉えた際の 88.29% よりかなり下がっている。この理由の一端については、すでに 5.1 と 5.2 で論じた。

正の転移は大きく 3 種類に大別できる。

6.2.1 韓国語 (使用語彙) vs. 日本語 (使用語彙)

タイプ I は 5,129 語であるが、この漢語 VN がすべて (4) のようにたやすく日本語に言い換えられるわけではない。漢語 VN が (4) のように

両言語ともに使用語彙として用いられるのは、7,000語のうち3,000語ほどであると思われる。それでも読み方などは大いに応用ができるため、漢語は日韓両言語の学習者がすでに持っている「言語ヘリテージ」または応用がきく「メンタルコーパス」だと筆者は考えている。

(4) 「VN-하다」 と 「VN-스ル」 の対応

설명(説明)하다	説明する
악수(握手)하다	握手する
암시(暗示)하다	暗示する
운동(運動)하다	運動する
의식(意識)하다	意識する

6.2.2 韓国語（使用語彙）vs. 日本語（理解語彙）

日韓両言語の漢語 VN において、同じ漢語 VN であってもその使用頻度には差がある。そのため翻訳や通訳の際、異なる表現を用いることもしばしばある。(5) のような漢語 VN は韓国語では使用語彙であるが、日本語では理解語彙にしても個人差があると思われる類である。無理に直訳をすると、不自然になったり、文意が通らなくなったりする場合がある。

- (5) 건의(建議)：建議／격분(激憤)：激憤／고민(苦悶)：苦悶／귀가(歸家)：帰家／농단(壟斷)：壟斷／보완(補完)：補完／상납(上納)：上納／전학(轉學)：転学／이첩(移牒)：移牒／조롱(嘲弄)：嘲弄／중용(愆憑)：愆憑／퇴근(退勤)：退勤／편애(偏愛)：偏愛／포함(包含)：包含／회자(膾炙)：膾炙…

このような傾向を視覚的に示すと図1のようになる。

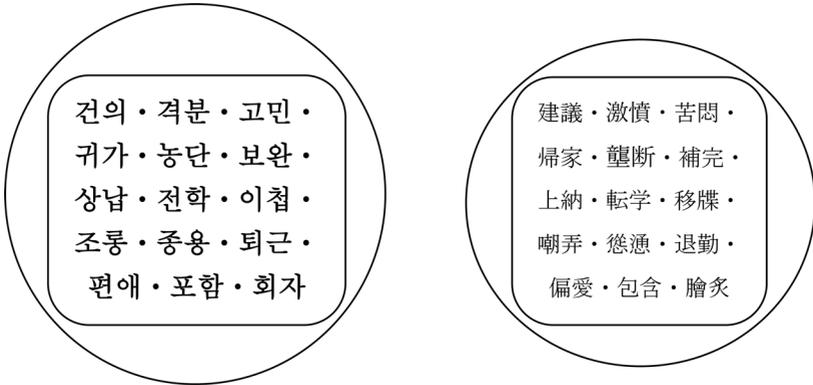


図1 韓日両言語の使用語彙の対応を視覚的に表わした様子

6.2.3 韓国語（理解語彙）vs. 日本語（使用語彙）

6.2.2に対し、韓国語からすると、文脈が与えられてもすぐ理解できない漢語 VN が日本語の中で使用語彙として用いられている場合も多い。

(6) のような例が挙げられる。

- (6) 감심(感心)：感心／반제(返濟)：返濟／반금(返金)：返金／
 삼체(澁滯)：澁滯／애고(愛顧)：愛顧／염상(炎上)：炎上／
 염출(捻出)：捻出／완제(完濟)：完濟／우우(優遇)：優遇／
 이환(罹患)：罹患／인퇴(引退)：引退／일전(一轉)：一轉／
 전교(轉校)：轉校／정양(靜養)：靜養／진감(震撼)：震撼／
 촉성(促成)：促成／추장(推獎)：推獎／호읍(號泣)：號泣…

(7jk) の翻訳からの対応の実例を見てみよう。

(7) j. でも友だちから借りたぶんはすべて、数年できちんと利子を付

けて返済しました。(『職業としての小説家』、p. 33)

- k. 하지만 친구들에게서 빌린 것은 모두 다 몇 년 만에 틀림없이 이자를 붙여서 갏졌습니다. (『직업으로서의 소설가』、p. 36)

『職業としての小説家』(2015)に「返済する」が4回用いられているが、いずれも(7k)の韓国の固有語の「갏다」に訳されている。

6.2.4 類義語での対応

タイプIの中には(8)のように、両言語間で対応する同じ漢語VNがあるが、類義語の使用が自然な場合もある。

(8)	韓国語	日本語
	감탄(感歎) > 감심(感心)	感嘆 < 感心
	귀가(歸家) > 귀택(歸宅)	帰家 < 帰宅
	오열(嗚咽) > 호읍(號泣)	嗚咽 < 号泣
	전학(轉學) > 전교(轉校)	転学 < 転校
	추천(推薦) > 추장(推獎)	推薦 < 推獎
	흡연(吸煙) > 깃연(喫煙)	吸煙 < 喫煙

このような傾向は日本の言語景観からも確認できる。日本語の「喫煙」に対し、韓国語は「깃연(喫煙)」ではなく「흡연(吸煙)」が用いられている。



図2 「喫煙」と「흡연(吸煙)」の対応 (東京と熊本)

翻訳の例も見てみよう。

- (9) j. 手持ちの知識をうまく論理的に組み合わせ言語化すれば、人々はすんなり納得し、感心することでしょう。(『職業としての小説家』、p. 20)
- k. 자신이 가진 지식을 최대한 논리적으로 조합해서 언어화하면 사람들은 수월하게 납득(納得)하고 감탄(感歎)하겠지요. (『직업으로서의 소설가』、p. 21) (漢字と下線部の追加は筆者)
- (10) j. 他人の作品を客観的な視線で読んで評価し、責任を持って推奨したり、あるいは却下したりする作業は… (『職業としての小説家』、p. 74)
- k. 타인의 작품을 읽고 객관적인 시선으로 평가해서 책임 지고 추천(推薦)하거나 혹은 각하(却下)하거나 하는 작업은… (『직업으로서의 소설가』、p. 80) (漢字と下線部の追加は筆者)

日本語の「感心」と「推奨」に対し、韓国語は「감탄(感歎)」と「추천

「推薦」が用いられている。筆者が (9j) と (10j) を韓国語に翻訳するとしても (9k) と (10k) と同じ漢語動詞を選ぶと思われる。

また、日本の言語景観から「転倒する」や「通報する」の用法がずれていることも見られる。図3で「転倒」に対しては「쓰러짐: 倒れること」が、「通報する」に対しては「신고(申告)하다」が用いられている。

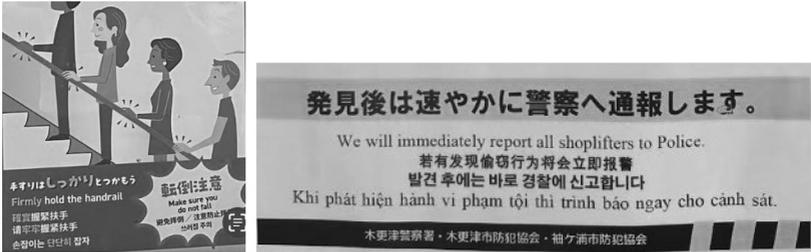


図3 「転倒」⁶⁾と「通報」に対応する韓国語（東京）

6.2.5 同じ漢語 VN であるが、用いられる中心意味がずれている場合

タイプ I の中には (11) のように対応する同じ漢語 VN があっても、意味が大きくずれているため、使用が厳しい場合もある。

- (11) 개학(開學) : 開学 / 동거(同居) : 同居 / 등극(登極) : 登極 /
 상달(上達) : 上達 / 인정(認定) : 認定 / 자만(自慢) : 自慢 /
 전락(轉落) : 転落 / 전향(轉向) : 転向 / 청탁(請託) : 請託…

(12) のように対応する同じ漢語 VN があっても、意味が完全にずれているため、負の転移に分類した漢語 VN もある。(11) の一部の漢語 VN もいずれ (12) に分類されると思われる。

- (12) 각인(刻印) ≠ 刻印

거래(去來)	≠	去來
공부(工夫)	≠	工夫
반각(返却)	≠	返却
산발(散髮)	≠	散髮
할애(割愛)	≠	割愛

6.2.6 漢語動詞もあるが、和語動詞の対応もある場合

日本語にも漢語動詞があるが、和語動詞が対応する場合も多い。(13) のような例が挙げられる。

- (13) 계속(繼續)하다: 継続する・続ける／계승(繼承)하다: 繼承する・継ぐ／기도(祈禱)하다: 祈禱する・祈る／반복(反復)하다: 反復する・繰り返す／방지(防止)하다: 防止する・防ぐ／비교(比較)하다: 比較する・比べる／선택(選擇)하다: 選択する・選ぶ／연장(延長)하다: 延長する・延ばす／염색(染色)하다: 染色する・染める／위로(慰勞)하다: 慰勞する・慰める／인정(認定)하다: 認定する・認める／진행(進行)하다: 進行する・進める／축하(祝賀)하다: 祝賀する・祝う／포함(包含)하다: 包含する・含む／표현(表現)하다: 表現する・表わす／확인(確認)하다: 確認する・確かめる

翻訳から (14) と (15) のような実例を見てみよう。

- (14) j. (…説明するとずいぶん長くなるので省きます)、会社に就職するのが… (『職業としての小説家』、p. 32)
 k. (…설명하자면 너무 길어지니까 생략(省略)하고) 회사에 취직하… (『직업으로서의 소설가』、p. 34) (漢字と下線部の追加は筆者)
- (15) j. …僕のを含めて全部で五篇の作品が最終選考に残ったとい

うことです。(『職業としての小説家』、p. 51)

- k. …내 것을 포함(包含)해 모두 다섯 편의 작품이 최종심에 올랐다는 것이었습니다. (『직업으로서의 소설가』、p. 55) (漢字と下線部の追加は筆者)

日本語の「省く」と「含める」に対し、韓国語は「생략(省略)하다」と「포함(包含)하다」が用いられている。筆者は「省く」と「含める」の韓国語訳に漢語動詞ではなく固有語動詞を考えてみたが、思いつかなかった。図4の言語景観からも日本語は和語動詞が、韓国語は漢語動詞が用いられていることが分かる。



図4 選ぶ：선택(選擇)하다 (成田空港・2025)

(16k) と (17k) の日本語訳を同じ漢語動詞にした場合、辛うじて意味は通るにしてもかなり不自然か、誤用に近いと感じられる。やはり、「染める」と「認める」が自然な翻訳であろう。

- (16) k. 머리를 염색(染色)하다.
 *?j. 髮を 染色する 7).
- (17) k. 잘못을 인정(認定)하다.
 *?j. 過ちを 認定する.

日本語の漢語動詞に、韓国語の漢語動詞と固有語の両方が対応する場合もある。どちらを優先するかは、文脈と語構成によると思われる。例えば、「忍耐する」に対して同じ漢語動詞の「인내(忍耐)하다」が対応することもあるが、固有語の「참다」が用いられることもある。日本語の場合、「忍耐力」「選択肢」「省略表現」「祈禱室」のように、複合名詞の用法と連動する傾向が強いと思われる。日本語は和語動詞も漢語動詞も(13)のように同じ漢字で繋がっているため、意味の共有が保てるという側面がある。

7 負の転移から見えてくる日韓両言語の相違

第二外国語教育において、母語が目標言語の習得の妨げになることを「負の転移 negative transfer」と言う。以下では、日韓両言語の漢語動詞における負の転移の様相を見てみよう。

7.1 タイプⅡ：「VN-하다」に対応する「VN-スル」がない場合

「韓日漢語動詞7000」から、「漢語VN-하다」に対応する「漢語VN-スル」が存在しないのが976語見られた。全体の約14%を占める数値で、日本語から捉えた際のタイプⅡの約2倍である。(18)のような漢語VNがあげられる。

- (18) 가격(加撃)・가식(假飾)・간주(看做)・갈취(喝取)・감내(堪耐)・감수(減壽)・강점(强占)・개가(改嫁)・겸상(兼床)・낙심(落心)・낙향(落郷)・냉대(冷待)・누락(漏落)・단속(團束)・답장(答狀)・면도(面刀)・명심(銘心)・미달(未達)・별세(別世)・시작(始作)・실수(失手)・이직(移職)・이체(移替)・출시(出市)・탕진(蕩盡)…

(18)の中には、「단속(團束)」「답장(答狀)」「실수(失手)」「시작(始作)」「출시(出市)」のような基本動詞も含まれている。

(19)は対応する日本語が和語動詞の場合である。100語以上が用いられているが、下記の図に提示したように使用語彙として頻度が高い漢語VNも多い。

- (19) 가봉(假縫)[假縫い]・가불(假拂)[假払い]・견습(見習)[見習い]・견적(見積)[見積もり]・결부(結付)[結び付き]
대출(貸出)[貸し出し] (図8)・매립(埋立)[埋め立て]・
 명도(明渡)[明け渡し]・상회(上廻)[上回ること]・
 언도(言渡)[言い渡し]・언쟁(言争)[言い争い]・
 절하(切下)[切り下げ]・조립(組立)[組み立て]・
 추월(追越)[追い越し]・취급(取扱)[取り扱い] (図7)・
 할인(割引)[割り引き]・합석(合席)[合席]・
호출(呼出)[呼び出し] (図5・図6)



(横浜)

図5 呼び出し

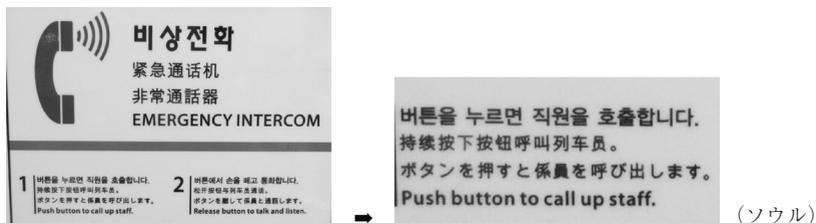


图6 호출(呼出): 呼び出し



图7 取扱: 취급(取扱)



图8 貸し出し: 대출(貸出)

(20) の翻訳からも「組み合わせ: 조합(組合)」の用法が見られる。

(20) j. 手持ちの知識をうまく論理的に組み合わせ言語化すれば、人々はすんなり納得し、感心することでしょう。(『職業としての小説家』、p. 20)

k. 자신이 가진 지식을 최대한 논리적으로 조합(組合)해서 언어화하면 사람들은 수월하게 납득하고 감탄하겠지요. (『직업으로서의 소설가』、p. 21) (漢字と下線部の追加は筆者)

(21) は日本語との対応において負の転移、すなわち、対応する漢語動詞はないが、中国語とは一致する類である。このように、日韓両言語の負の転移の様子を調べると、韓国で作られた漢語と中国で作られた漢語が混ざっている。「案内」「駐車」「注文」「洗濯」「料理」などが日本で作られたように、韓国で作られた漢語も少なくないことが今回の調査で判明した。

- (21) 각골(刻骨) : 刻骨 · 각설(却說) : 却說 · 간구(懇求) : 懇求 ·
 간택(揀擇) : 揀擇 · 갈구(渴求) : 渴求 · 감당(堪當) : 堪當 ·
 감수(減壽) : 減壽 · 감청(監聽) : 監聽 · 감축(減縮) : 減縮 ·
 강권(強勸) : 強勸 · 강매(強賣) : 強賣 · 강점(強占) : 強占 ·
 개가(改嫁) : 改嫁 · 거담(祛痰) : 祛痰 · 거사(舉事) : 舉事 ·
 검표(檢票) : 檢票 · 경각(警覺) : 警覺 · 공양(供養) : 供養 ·
 광복(光復) : 光復 · 괘념(掛念) : 掛念 · 구걸(求乞) : 求乞 ·
 권주(勸酒) : 勸酒 · 기구(祈求) : 祈求 · 기우(祈雨) : 祈雨 ·
 낙방(落榜) : 落榜 · 낙향(落鄉) : 落鄉⁸⁾ …

(21) は中国語からの借用の可能性もありうるため、筆者は日韓両言語間で負の転移を呈する漢語 VN から中国語とも一致しない漢語 VN をまとめる作業をしている⁹⁾。(21) の「단속(團束)」「답장(答狀)」「실수(失手)」「시작(始作)」「출시(出市)」などは中国語にない。これらが直ちに韓国で作られた漢語 VN であることにはならないため、筆者は現在、「韓日漢語動詞 7000」を対象にこの仕分けをしている。これには本稿のような共時的観点だけでなく通時的観点も必要である。

「韓日漢語動詞 7000」に、日本語の和語動詞からの借用と見られる漢語 VN が 100 語以上載っている。この類は日本語から韓国語を捉えた際には見えないが、韓国語から日本語を捉えると見えてくるものである。これには漢語動詞だけでなく、漢語名詞の類、例えば「입구(入口)」「출구(出口)」「창구(窓口)」「유화(油畫)」「석양(夕陽)」も少なくない。いずれ、整理が必要な語種である。

7.2 タイプⅢ：韓国語は漢語動詞であるが、日本語は漢語名詞（または形容動詞）の場合

「韓日漢語動詞7000」で、韓国語においては漢語動詞であるが、日本語では漢語名詞または形容動詞の類が895語も見られた。そのため、この類は「日韓漢語動詞7000」には見出し語として載っていない。尹・車(2014)でも一部取り上げられたが、(22)のような漢語VNである。

- (22) 가학(加虐)：加虐・가해(加害)：加害・강우(降雨)：降雨・
 개략(概略)：概略・개운(開運)：開運・거국(擧國)：擧國・
 거동(擧動)：擧動・걸식(乞食)：乞食・격주(隔週)：隔週・
 결격(缺格)：欠格・결번(缺番)：欠番・결승(決勝)：決勝・
 결원(缺員)：欠員・경로(敬老)：敬老・경상(輕傷)：輕傷・
 경칭(敬稱)：敬稱・계책(計策)：計策・고문(顧問)：顧問・
 공영(共榮)：共榮・공저(共著)：共著・공증(公證)：公証・
 과로(過勞)：過勞・구국(救國)：救國・불매(不買)：不買・
 불신(不信)：不信・효도(孝道)：孝道・희생(犠牲)：犠牲…

(22)の一部は漢語VNとしての用法も見られるが、「과로(過勞)」「불신(不信)」「효도(孝道)」「희생(犠牲)」などは漢語動詞としての用法が多い。

(23)は(22)と違って、日本語では漢語動詞、韓国語では漢語名詞の例である。語数からすると、韓国語の方が2倍以上多い。中でも「故障する」「影響する」は母語干渉が起きることもある。「飲食」の場合、韓国語は名詞であるため、わりと目にする「飲食禁止」が韓国語では不自然で、「음식물 금지(飲食物 禁止)」か「취식 금지(取食 禁止)」で用いられている。

- (23) 安打：안타(安打)・意見：의견(意見)・異見：이견(異見)・
 異動：이동(異動)・飲食：음식(飲食)・影響：영향(影響)・
 加湿：가습(加濕)・均衡：균형(均衡)・欠損：결손(缺損)・
 限界：한계(限界)・故障：고장(故障)・立地：입지(立地)…

両言語において、同じ漢語 VN を共有しながら、動詞への派生に見られる相違についてはさらなる考察が必要である。ここに日韓両言語における動詞化の大きな違いが隠れているように思われる。

7.3 品詞のずれ

尹亭仁 (2024 : 153) でも取り上げられているが、日韓両言語の漢語動詞の品詞分類にも不一致も見られる。(24) と (25) のような漢語 VN があげられる。

- (24) 韓国語は自動詞 vs. 日本語は他動詞¹⁰⁾

밀정(密偵)・부상(負傷)・위증(偽證)・휴지(休止)

- (25) 韓国語は他動詞 vs. 日本語は自動詞

논급(論及)・논단(論斷)・확집(確執)

ここまで、韓国語を中心に「韓日漢語動詞 7000」に見られる日本語との対応の様子について取り上げた。日韓両言語において同じ 7,000 語であっても、対応の様子は多岐にわたっていることが判明した。また片方の言語だけが漢語動詞である場合も多いことが分かった。「日韓漢語動詞 7000」と「韓日漢語動詞 7000」の 2 冊の完成により、片方だけのアプローチからは見えない両言語の漢語動詞の用法がより具体的に捉えられたと思われる。

日本語にも漢語動詞に見える(26)のような和語動詞や混種語動詞があるように、韓国語にも漢語動詞に見える固有語動詞がある。(27)のような動詞が挙げられる。この2冊から語種の確認も可能になる。

(26) 漢語動詞に見える日本の混種語動詞

合席する・逢引する・試合する・立会する・手配する・服喪する

(27) 漢語動詞に見える韓国の固有語動詞

마감하다・배웅하다・생각하다・재촉하다・저어하다・흥정하다

8 おわりに

本稿での考察で、韓国語の漢語動詞の全体的様相が明らかになった。「日韓漢語動詞7000」と「韓日漢語動詞7000」を漢語動詞の構文情報の格納庫にすれば、使役動詞および受身動詞への派生情報も容易に加えられる。日韓両言語において漢語動詞の共有という「正の転移」を両言語の教育現場で生かしつつ、不一致を見せている「負の転移」から予想される「母語干渉」に効果的に対応するためにも、この2冊の漢語動詞の資料集の活用が大いに期待される。

*謝辞：本研究は、JSPS 科研費 24K04062 の助成を受けたものである。

注

- 1) 品詞分類は『東亜新国語辞典』第5版(1989/2003)を基準にしながら『標準韓国語大辞典』(インターネット版)も参考にした。
- 2) 筆者は自自共用動詞のリストと共通性を見出すため『東亜新国語辞典第5版』(1989/2003)を調べ、600語以上の存在を確認した。
- 3) 影山(1993:43)に「意図的に動作を行う動作主(Agent)を主語に取る自動詞が非能格、意図

を持たず受動的に事象に係わる対象 (Theme) を主語に取る自動詞が「非対格」と定義されている。この定義は韓国語の「漢語 VN-되다/하다」の分析にも有効なところがある。「非能格」と「非対格」の詳細については、影山 (1993) を参照されたい。

- 4) まずは、生越 (1982) を参照されたい。
- 5) 筆者は授業で「秋田県」と「秋田犬」、「仙台」と「先代」のアクセントの違いで、笑いは取れたが、ほろ苦い記憶として残っている。
- 6) 韓国語に「転倒」に対応する「전도(轉倒)」があるが、ポスターのような状況が文脈として与えられても意味は通じにくい。本稿では、韓国語の訳である「쓰러짐」の不自然さには触れないことにする。
- 7) *は当該の語彙または文が誤用か非文法的であることを表わす。
- 8) 韓国語の「낙향(落郷)」と中国語の「落乡」は同じ意味ではない。意味のずれなのか、そもそも個別に形成された単語なのかは不明である。韓国語の「낙향(落郷)」に相当する中国語は「下乡」になる。
- 9) 中国語母語話者のネイティブチェックが必要であるため、高療先生 (浙江大学) にご協力を得ている。
- 10) 徳弘 (2014: 463) に日本語の品詞分類においても、辞書によって自他が違うことが指摘されている。

参考文献

- 生越直樹 (1982) 「日本語漢語動詞における能動と受動—朝鮮語 hata 動詞との対照—」『日本語教育』48 pp.53-65
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』ひつじ書房
- 小林英樹 (2004) 『現代日本語の漢語動名詞の研究』ひつじ書房
- 張志剛 (2014) 『現代日本語の二字漢語動詞の自他』くろしお出版
- 平高史也・木村護郎クリストフ編 (2017) 『多言語主義社会に向けて』くろしお出版
- 尹亭仁 (2015) 「日韓両言語における漢語動詞の「負の転移」をめぐって—2 字漢語動詞を中心に—」『神奈川大学言語研究』37 pp.1-26 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2019) 「韓国語の漢語動詞の語彙調査 (2) —『李箱文学賞作品集 2006-2015』の分析を中心に—」『神奈川大学言語研究』42 pp.1-26 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2020) 「日本における韓国語の言語景観と活用の可能性 (1) —韓国語の漢語語彙力の向上の観点から—」『神奈川大学言語研究』43 pp.1-34 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2022) 「日本語母語話者に韓国語の 2 字漢語動詞を体系的に提示するための取組みについて」

- 『神奈川大学人文研究所報』67 pp.103-119 神奈川大学人文研究所
- 尹亨仁 (2023a)「日韓両言語における2字漢語動詞の対応—1290語の分析と「基本漢語動詞」の策定—」『神奈川大学人文報』208 pp.113-145 神奈川大学人文学会
- 尹亨仁 (2023b)「韓国語の「漢語 VN-sikida」の用法と派生上の特徴—2つの語彙調査の結果を中心に—」『神奈川大学言語研究』45 pp.1-23 神奈川大学言語研究センター
- 尹亨仁 (2024)「日韓両言語における2字漢語動詞の対応の諸相 (1) —「日韓漢語動詞7000」の分析を中心に—」『神奈川大学人文研究』213 pp.131-154
- 尹亨仁 (2025)「日本における韓国語の言語景観と活用の可能性 (3) —漢語動詞の語彙力の向上の観点から—」『神奈川大学言語研究』47 pp.73-99
- 尹亨仁・車香春 (2014)「韓国語と日本語の2字漢語動詞に関する一考察—韓日辞典に見られる異同を手がかりに—」『神奈川大学言語研究』41 pp.1-24 神奈川大学言語研究センター
- 尹亨仁・崔英姬 (2018)「韓国語の漢語動詞の語彙調査 (1) —『中央日報』の社説 (2016年1~12月)の分析を中心に—」『神奈川大学言語研究』40 pp.129-151 神奈川大学言語研究センター
- 鷲尾龍一 (1998)「韓国語漢語動詞における動詞選択の問題—「對應하다、對應되다」の場合」『先端的言語理論の構築とその多角的な実証 (2-A)』COE形成基礎研究費報告書

【辞書類】

〈日本語〉

- 小野正弘主幹 市川孝・見坊豪紀・飯間浩明・中里理子・鳴海伸一・関口祐未 (2019)『三省堂現代新国語辞典』第六版 三省堂
- 小泉保他編 (1989)『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店
- 新村出編 (2008)『広辞苑』第6版、岩波書店
- 佐竹秀雄・三省堂編修所編 (2010)『デイリーコンサイス国語辞典』第5版 (中型版) 三省堂
- 三省堂編修所編 (2017)『デイリー韓日英辞典 [カジュアル版]』三省堂
- 徳弘康代編著 (2014)『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』三省堂
- 松村明監修『大辞泉』(電子辞書版) 小学館
- 松村明編 (2019)『大辞林』第4版 三省堂
- 尹亨仁編 (2009)『デイリーコンサイス韓日辞典』三省堂

〈韓国語〉

- Kim Hyeon-gwon・宋哲儀・Park Man-gyu・権在一 (2021)『韓国語動詞辞典』VegaBooks:ソウル

李基文監修（1989/2003）『동아 새 국어사전：東亞新國語辭典』 東亞出版社：ソウル
国立国語研究院『標準韓國語大辭典』（インターネット版）

【新聞】

『한겨레신문：ハンギョレ新聞』（インターネット版）、한겨레신문사：ソウル